



青柳園だより

令和5年
3月号
文京区立青柳幼稚園

あおやぎようちえん DE スマイル!

園長 和島 千佳子

2月末の昼下がりの庭では、4歳児もも組と5歳児ゆり組が混ざり合って一緒に鬼遊びをしています。見よう見まねで遊びながらルールが分かり、楽しむもも組。そのようなもも組の様子を見ながら、ゆり組はどうすれば皆が楽しく遊べるかを考え、ふるまっています。それぞれの姿に、子どもたちの成長を感じます。

そんな子どもたちを見守るように大きく枝を広げている、なつみかんの木があります。今年は大豊作でたわわに実り、砂場の近くの手に届きそうな場所にもたくさん実をつけています。そこで降園時に、親子でなつみかん狩りをしました。「あっちのがいい!」「大きいね」「けっこう重い」「いいにおい」「葉っぱがついてる」「すっぱいかな」などいろいろな言葉が聞かれます。なかなか手が届かないでいると、近くにいる方がさっと枝を押さえたり、「こっちからのほうが取りやすそう」と声を掛けたりしていて、即座の連携が見事でした。

そして、採ったなつみかんと一緒に、『親子でスマイル』写真撮影です。

また、教職員の他にも、広場に来る未就園児の皆さんや、学校運営連絡協議会委員の方、区教育センターや教育委員会の方々など、来園される方にお声掛けし、「なつみかん DE スマイル」と称して写真撮影にご協力いただきました。

そうして集まった「スマイル」を、園の玄関に掲示しています。130を超える、笑顔や決めポーズ。「写真、ですか…」とおっしゃっていた方も、私や職員がカメラを向けさせていただくと、ぱっとその方らしい素敵な表情を見せてくださいました。集まったスマイルの写真を見ると、この場にこんなにも多くの方が集い、立ち寄り、また園を応援してくださり、皆で青柳幼稚園の時間をともに紡いでいるのだと感じます。

なつみかんがもたらしてくれる自然の恵み。かつてここで過ごした方がこの木を植えてくださったこと。木が生長してこんなに実をつけるようになるまでの時の積み重ね。なつみかんを通して生まれる人と人とのつながり。日々の積み重ねの中で、新しい未来へと向かっていること…すべてに感謝です。



数えきれないほどたくさんになつみかんでしたので、まだ園にあります。よろしければお分けいたします。できればご一報の上、幼稚園にいらしてください。「スマイル」でお待ちしています。

